

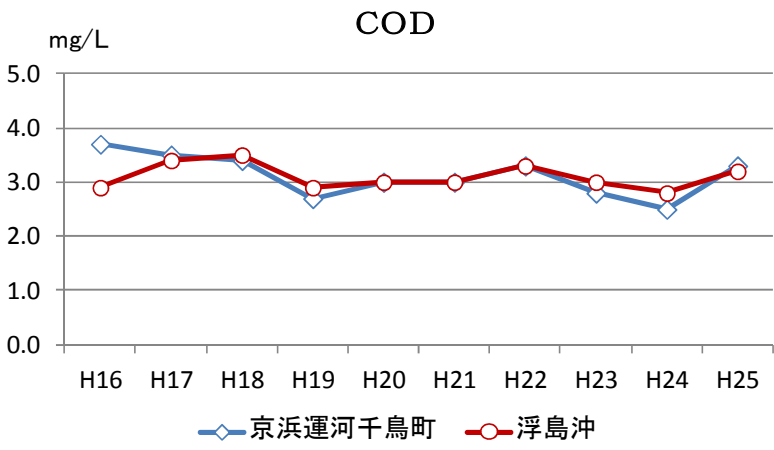
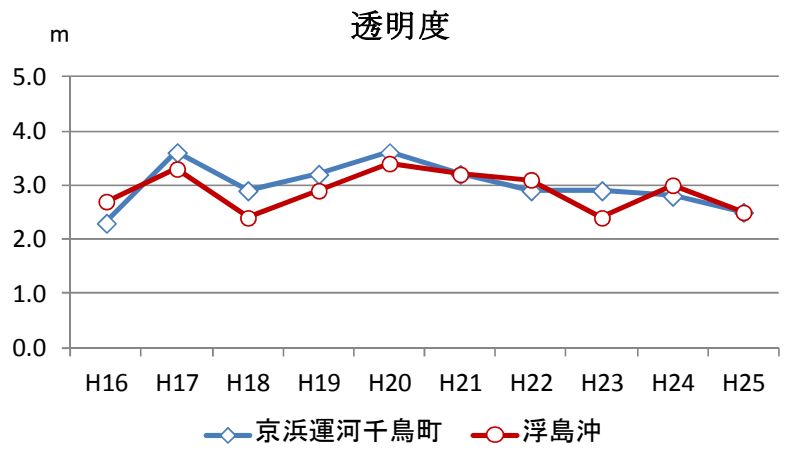
5. 川崎の海の水質



川崎市では川崎港周辺で定期的に水質を測定しています。左の図に示す2カ所の最近の10年間の変化をみてみましょう。

川崎の海は東京湾の西側で川の影響を強く受けています。水は濁りやすい場所ですが、以前に比べ、ここ10年は比較的きれいな水質になりました。

透明度：海水の見通しの程度を示します。年間平均値は3m程度です。最近の5年間ではわずかに低下しています。海水浴場の水質判定基準では透明度1m以上が「適」とされています。



COD：海水の汚れを示します。年間の平均値は3mg/L程度で横ばい状態です。海水浴場の水質判定基準ではCODは3mg/L以下が「適」とされています。

クロロフィルa：植物プランクトンの量を示します。年間平均値は15~20 μ g/L程度です。その年による大きな変化がみられます。赤潮のときは30 μ g/Lを超えることもあります。

